

博物館情報・メディア論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 博物館業務システムの開発や運用で配慮すべきことについて、博物館の社会的機能の実現を念頭におきながら、下の【】に示す言葉を用いて600字程度で論じなさい。解答文の中で用いる下の【】の言葉には、下線を引くこと。(20点)

【レスポンス、効率化、信頼性、拡張性、強靱性】

2. 19世紀には電話、写真機、シネマなど人間の感覚器官を拡張する入力装置(メディア)が発明された。M. マクルーハンは、それらが人間の身体や心理の働きを拡張したと主張した。このように考えた場合、スマートフォンやタブレットは人間の何をどのように拡張すると考えられるか。600字以内で論じなさい。(20点)

3. 次の文章の()に最も適する語句を下の選択肢より選びなさい。**解答欄にはその記号を記しなさい。**(各5点)

(1) ()は、技術の急速な進展によって人間の生活が後戻りできないほどに変容してしまう時点を意味する用語である。

- ①シンギュラリティ
- ②拡張現実
- ③アントロポシーン

(2) ISO9000シリーズは、国際標準化機構(ISO)による()に関する規格の総称である。

- ①環境マネジメントシステム
- ②日付と時刻の表記
- ③品質マネジメントシステム

(3) 19世紀の中頃にニューヨークで創刊された『ザ・サン』紙や『ニューヨーク・ヘラルド』紙などの廉価な大衆紙のことを（ ）と呼ぶ

- ①ブランケット
- ②デーリー・ニュース
- ③ペニー・ペーパー

(4) メディアが情報の受け手に対して、直接的に、強い影響を及ぼすと考える理論を（ ）と言う。

- ①弾丸理論
- ②沈黙の螺旋理論
- ③サブリミナル理論

4. 次の(1)～(4)の文章のうち、それぞれ正しいものの記号1つを選びなさい。
(各5点)

(1) データベースについて

- ①RDBは、関係と呼ぶ概念でモデル化されたデータの集まりを個別の点の概念で扱う。
- ②DBMSは、データベースの操作・保守・管理のためのソフトウェアであり、開発当初は軍用や宇宙開発に用いられた。
- ③データベースは、複数の主体で共有・再利用がしやすいように、多様な形式で作成・管理されたデータの集合のことである。

(2) 情報技術と社会について

- ①博物館では個人情報扱うことはできない。
- ②博物館の資料情報であっても公開を避けなければならない場合がある。
- ③博物館は公共機関としての性格を有するため、どのような意図の接続でも妨げてはならない。

(3) テレビの歴史について

- ①「テレビの父」と呼ばれる高柳健次郎は、ブラウン管の陰極にニッケルリボンを使用し、フィラメントを酸化物で薄く覆うことでブラウン管の蛍光面を光らせることに成功し、1926年12月25日、カタカナの「イ」の送受信を実現した。

- ② 1953年2月1日、NHK がテレビの本放送を開始し、その日に特別番組としてNHK 紅白歌合戦をテレビ中継した。
- ③ カラーテレビの本放送は1960年9月10日に開始されたが、放送方式は全米テレビジョン方式委員会が決めた「PAL 方式」であった。

(4) 文字文化について

- ① W. オングはメディアの発展史を口承的、書記的、活字的、電子的という特徴によって分類した。書記の文化には多くの常套句があり、人々の思考はそれに強い影響を受けて成立していた。
- ② 15世紀半ば、ヨーロッパで初めて活版印刷が行われた。それ以前は手書きでの「書き写し」や木版印刷であったため、本の大量生産が出来なかった。しかし、活版印刷によってそれが可能になり、多くの知が広く流通することになった。活版印刷は、ルネッサンスや宗教改革などに多大な影響を及ぼしたと言われている。
- ③ 言文一致とは日常的に使われている話し言葉に近い文体を用いて文章を書くことである。明治時代に、森鷗外が中心となって言文一致運動が起こった。

5. 次の用語を簡潔に説明しなさい。(各10点)

(1) 人工知能を用いたビックデータ・アナリティクス

(2) キュレーション